



各 位

平成 31 年 2 月 14 日

会 社 名 セーラー万年筆株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 比佐 泰
(コード番号 7992 東証 第二部)
問 合 せ 先 取締役管理部長 米澤 章正
(TEL 03-3846-2651)

平成 30 年 12 月期個別業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想につきまして重要性の観点から公表を行っておりませんが、平成 30 年 12 月期の個別業績につきまして、前期実績値と比較して差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

平成 30 年 12 月期個別業績と前期実績との差異(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (平成 29 年 12 月期) (A)	5,596	△5	△31	106	8.50
今期実績 (B)	5,338	△73	△109	△75	△5.49
増減額 (B - A)	△257	△68	△78	△181	—
増減率 (%)	△4.6	—	—	—	—

(注)平成 29 年 7 月 1 日付で株式併合を行ったため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算定しております。

●前期実績との差異の理由

ロボット機器事業の業績は計画通り順調に推移しました。しかし、文具事業では、生産拠点である広島県呉市の天応工場が、平成 30 年 7 月豪雨により被災した影響及び仕入商品である輸入筆記具の売上高減少等により、前年実績を下回りました。なお、当期純利益につきましては、平成 29 年 12 月期に投資有価証券売却益 1 億 7 百万円を計上していたこともあり、前年と比較して大きく低下した結果となりました。

以上